



社協 みなみ

■発行日：令和5年2月1日

■発行：社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会
会長 大津 幸雄

90号

南区承認第38号

横浜市南区社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていくために、ボランティア、福祉・保健関係者や行政の協力を得ながら地域の福祉活動を進め、またその活動を応援する組織です。

- もくじ
- ①面…私たちのまちを幸せにするためにできること
 - ②面…団体紹介『みなみクリスマス』
『障がい理解啓発グループKokua』
 - ③面…南区社協からのお知らせ・ご報告

私たちのまちを幸せにするためにできること

～ふだんのくらしのしあわせ～

『知る』ことで広がる、地域の温かい目

私たちが暮らすまちには、外見・性格・価値観・能力など多様な人々が住んでいますが、実際に日常で接する機会がある人は限られています。多様な人々に対し、漠然としたイメージはあっても、関わりがなければ「分からない」ことも多く、ついつい見た目だけで判断してしまうこともあるかもしれません。しかし、「分からない」部分を『知る』ことだけでも、多様な人々への理解は広がります。地域の誰もが安心できるまちを目指すために、まずは『知る』ことから始めてみませんか。



知る

今号では『知る』をテーマに、障がいのある方との関わり方についてご紹介します。

知的に障がいがある方と接するときに知ってほしいことについて、障がい理解啓発グループ『Kokua』さんに聞いてみました！

どんな気持ちでいる？

感情は障がいのある人もない人も同じです。ただ、感情を上手に表現することは苦手です。また、気持ちの切り替えにも時間がかかってしまうため、ゆっくり待って、「どう思っているか？」を想像してみてください。

苦手なもの・こと

大きい声、早口、キーキー声、他にも犬の吠える声や赤ちゃんの泣き声が苦手な人もいます。また、急かされたり、苦手なことが続いたりすると、飛び跳たり、自分の頭をぶついたり、大きな声を出してしまうことがあります。これは、本人が何かを伝えようとしているサイン。焦らず、少しの間見守ってください。



お互いのペースを大切に、相手の立場に立ち、想像を働かせることが『知る』につながります！

災害時など、いざという時に協力し合うのは『地域の助け合い』です。
地域をよくする第一歩として、自分のまちに目を向けてみませんか。

相手の立場に立って、考えることが大切なんだね。僕たちも電車やバス、駅構内、スーパーなど、日常での思いやりの気持ちを大切にしていきたいな。

ふだんのくらしのしあわせを作るため、工夫をしながら、自分のまちを“良くする活動”をすすめる団体を紹介します！



ひとり親家庭支援団体

～子どもたちに笑顔をプレゼントしよう～ 『みなみクリスマス』



『みなみクリスマス』ってどんなことをしているの

【立上げのきっかけ】 NPO 法人チャリティーサンタ（※）横浜支部のメンバーを中心に、サンタが自宅にプレゼントを届けにくる体験を、より多くのお子様へ届けるため、南区の様々な団体と連携し、地域土着のイベントとして盛り上げていこう！との思いから「みなみクリスマス」の実施にいたりしました。

【運営メンバー】 NPO 法人チャリティーサンタ横浜支部に所属するメンバーです。また、家庭を訪問するサンタ役は地域から集まったボランティアの方々が活躍しています。

【主な活動内容】 南区内にお住まいのひとり親家庭や、経済的に季節行事を経験させることが難しい家庭を対象に、サンタクロースがご自宅まで、寄付で集まった絵本や地域団体から頂いたお菓子をプレゼントとしてお届けしています。

『みなみクリスマス』からの地域へのメッセージ

地域の方はそれぞれが様々な“人とのつながり”を持っていると感じています。例えば、プレゼントとしてのお菓子を増やしたいと相談すれば、力になってくれる団体を紹介してくれたり、地域の福祉がまわるようにと、障がいのある方が働く事業所のお菓子を提供するアイデアを出してくれたりするなど、相談するまでは想像できなかった展開やつながりを実感しています。地域は発見に溢れています。これからも、暖かく見守っていただくとともに、興味をもっていただけの際はぜひお力になっていただけると嬉しいです。

今後の活動にむけて

活動を通じて、様々なつながりやきっかけを作るため、これからも地域のみなさまとの交流の「場」を持ちたいと考えています。日常ではなかなか届かない福祉の情報を、より多くの方々に知ってもらえるように、イベント周知や情報を届けることで、南区全体を盛り上げていきたいと思っています。



NPO 法人チャリティーサンタ※とは

「サンタを待っている子ども」と「サンタになる大人・企業」をつなげる活動を全国各地で行う NPO 法人。個人や企業が手を取り合い「社会全体で子どもを支え合う」そんな気運を醸成していくことを目指しています。



『みなみクリスマス』への問い合わせ（代表：田畑） TEL：080-5017-3564 / LINE：http://lin.ee/wsTzMiO
随時メンバー募集中です。子どもの笑顔や未来のために、一緒に活動してみませんか。

障がい理解のすそ野を広げるために…

～障がいのある人もない人もみんないっしょ～

『障がい理解啓発グループ Kokua』

『Kokua』ってどんなことをしているの

『Kokua』は、障がい児者の将来を考える会「泉の会」を母体とする、障がい理解啓発グループです。2011 年の東日本大震災をきっかけに、グループとして発足しました。主に、地域や学校へ出向き、障がいのある人の「気持ち」を疑似体験・ビデオ上映などを通して、障がい児者理解のための出前講座を中心に啓発活動を行っています。

『Kokua』からの地域へのメッセージ

障がいのある人は、保護の対象になりやすいが、彼らにも“できることや得意なこと”があります。障がいは“特別”なことではなく、少しの工夫があればみんなと同じ生活が送れます。人の役に立ちたい気持ちを強く持つ彼らを、ひとりの“人間”として認め合い、得意を活かす場所を地域とともに作っていきたくて考えています。

また、人と違う行動をとってしまう理由は、人それぞれです。苦手なことも多くあるため、日頃から不安感も強く、行動に現れてしまうこともあります。けれど、気持ちは健常者と変わりません。「なぜそうになってしまうのか?」、その理由を想像することが、コミュニケーションの第一歩であり、これらの積み重ねが、みんなの安心へとつながると信じています。



今後の活動にむけて

障がいのある人もない人も、みんな違うけど感じる気持ちは「みんないっしょ」です。小さい頃からの多様性の理解を大切に、地域を始め、今後は小学生向けの出前講座にも力を入れていきたいと思っています。

『障がい理解啓発グループ Kokua』への問い合わせ（担当：伊藤） TEL：080-5418-3483 / FAX：045-711-5117
メンバーは泉の会の有志です。Kokua（コクア）とは…ハワイ語で、「助け合う」「協力し合う」を意味します。



南区社協からのお知らせ・ご報告



令和5年度 南区ふれあい助成金説明会

★ホームページにて動画配信をします★



～市民の皆さんの非営利な地域福祉推進事業や障がい福祉推進事業を応援します～

◆◆◆助成金申請を検討される団体は必ずご一読ください◆◆◆

- ①ホームページにて3月上旬頃より、助成金説明動画を配信します。
※動画視聴が可能な団体様は原則ご自宅等でご覧ください。
- ②(※)に該当しない方(動画再生機器がない等)を対象とした、説明動画の上映会を別途実施します。



◆◆南区ふれあい助成金（トモニー助成金）について◆◆

【助成対象団体】

南区内で活動する市民活動団体、障がい当事者および家族団体

【助成対象事業】

- 1) 複数の横浜市民を対象とする、南区内で行う地域福祉の推進を目的とした非営利事業
- 2) 横浜市・南区、または横浜市社会福祉協議会からの補助・委託等を受けていない事業
※親睦のみを目的とする事業、主に自助を目的とする事業は対象外とします。

【助成の制限】

- 1) 申し込みは **1団体1事業** とします。
- 2) 食材費・イベント等の **飲食経費は助成対象外** となります。

※詳細については南区社協ホームページでご確認ください。

◆動画上映会の申込みについて◆

参加を希望される説明会の前日正午までに電話または助成金専用メールアドレスにてお申込みください。(希望日時・団体名・参加者名・説明会参加者の当日の連絡先を明記)

日 時：令和5年3月2日(木)・3日(金)各日 ①10時～ ②14時～

場 所：南区福祉保健活動拠点 トモニー 団体交流室

対象者：自宅からの動画視聴が困難な方

内 容：令和5年度南区ふれあい助成金上映会(質疑応答含む)

【申込み・問い合わせ】

社福)横浜市南区社会福祉協議会

TEL：045-260-2510 FAX：045-251-3264

E-mail：josei-minami@yokohamashakyo.jp

賛助会員にご加入いただきありがとうございました

地域活動やボランティア活動等の一部には、行政からの補助金や共同募金などが使われています。しかし、活動を安定・充実させるためには、それらの財源だけでは十分でなく「地域ぐるみの応援」が必要となります。南区社協では、世帯(個人)、法人・団体に賛助会員にご加入いただいております。令和4年12月末日現在 3,668,990 円ものご協力をいただきました。ありがとうございました。引き続き、皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

賛助会員寄付者 ※敬称略、順不同

・相模サービス株式会社 ・長谷川商事株式会社

令和4年度 日赤会費募集にご協力ありがとうございました

12月末日現在、南区地区委員会に寄せられました会費は 11,635,257 円です。主に区内の火災等の被害者へのお見舞金や地域の防災活動費、国内外の災害援助活動等の資金として使わせていただきます。

南区福祉功労者感謝の会

南区の社会福祉向上のために尽力・貢献された方々に感謝の意を伝えるため、南区社会福祉協議会と南区役所共催で「南区福祉功労者感謝の会」を11月17日(木)に実施しました。

今年度は、10名の個人と4団体の方々が受表彰されました。

授彰式後、区長・会長・受表彰者・推薦者の方々と写真撮影を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催となりましたが、和やかに終えることができました。



善意銀行寄付者 (令和4年10月1日～12月31日) ※敬称略、順不同

坂田富喜子
高橋接骨院
手芸ボランティアすずらん
混声合唱団永田グリーンエコー
大場章雄
金澤輝雄
横浜植木株式会社

浜
大谷翔平・星空みゆき
横浜橋通商店街協同組合
大山祇命神示教会
三曲会
鈴木正光
横浜太極拳同好会



編集・発行



社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会

〒232-0024 横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階
TEL：045-260-2510 FAX：045-251-3264

ホームページ <http://www.minami-shakyo.jp>



●編集委員

有藤 勲・上野隆子・大八木綾子・小川正治・高橋祥世・永井正己(五十音順)

トモニーギャラリーのご案内

南区福祉保健活動拠点では、区内に在住する福祉保健関係者が自主制作した、絵画・写真・書道作品等を展示する「トモニーギャラリー」を開いています。展示期間は原則1ヶ月、出展料は無料です。詳細は南区社協にお問い合わせ下さい。



ボラぴ!!

no.38

「ボラぴ!!」のぴは
ピッピッと感じるアンテナ
ピースのぴ
ぴかいちのぴ
Pit inのぴ



それから...

南区ボランティアセンター
南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階
Tel. 260-2531 Fax. 251-3264
◆開館：年末年始をのぞく午前9時～午後5時◆
(日・祝祭日も開館しております)

南区 ボランティアフェスタ

入場無料

みんなで広げよう
ささえあいの輪

●日時 令和5年2月19日(日)11:00～14:00

●場所 トモニー(南区福祉保健活動拠点)
浦舟町 3-46 浦舟複合福祉施設 8F



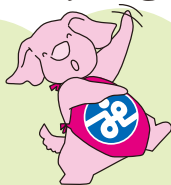
手芸品販売

楽しくなければボランティアじゃない!誰でも参加でき、
家族で楽しめるボランティアのお祭りです。
いっしょにボランティアの楽しさを体験しませんか?
ボランティアをはじめたいという方のための
相談コーナーもあります。

来て!

販売コーナー

手芸品・お好み焼き・やきいも・
白玉あずき・コーヒー・マドレーヌ
等

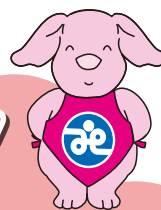


アイマスク体験

体験!

体験・実演コーナー

ミニ手話講座・点字体験・傾聴体験・
アイマスク体験・網戸の張り替え・
ミニマジック講座・ボランティア犬とのふれあい
等



「世話焼き」プレゼント
先着300名様に
世話焼き(大判焼き)
プレゼント!

見て!

活動紹介コーナー

パネル展示
ボランティア登録受付・相談
ボランティア保険申込書配布 等



ボランティア登録・相談



動物とのふれあい



ミニマジック講座

ボランティア入門講座

「はじめの一步」をここからスタートしませんか?

日時：3月6日(月)10時30分～12時
場所：トモニー(南区福祉保健活動拠点)
参加費：無料
申込：2月28日(火)まで電話にて申込

傾聴みなみ学習会 ～公開講座～

認知症であっても症状の現れ方は、人それぞれ。
ひとりひとりの個性が症状に反映されます。

日時：2月16日(木)13時30分～15時30分
場所：みなみ市民活動多文化共生ラウンジ研修室
講師：認知症キャラバンメイト、認知症サポーター
参加費：無料
申込：2月14日(火)まで電話にて申込